



MUFG通信

2018年度中間期(2018年4月1日～2018年9月30日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <https://www.mufg.jp/>
証券コード : 8306



社長メッセージ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、2018年度中間期の業績および今後の取り組みについてご説明します。

▶ 2018年度中間期の業績について

2018年度中間期は、債券関係損益減少を主因に、業務粗利益は前年同期比1,255億円減少の1兆8,825億円となりました。営業費は、国内では抑制を続けているものの、海外での業容拡大や規制対応費用等の増加により、前年同期比で小幅ながら増加しました。この結果、業務純益は、前年同期比1,326億円減少の5,681億円となりました。

与信関係費用の改善や、モルガン・スタンレーの利益貢献の増加などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は、238億円増加の6,507億円となりました。期初にお示した通期業績目標8,500億円に対する進捗率は76%です。

これを受けて、2018年度通期の業績目標を8,500億円から9,500億円に上方修正しました。

経営の健全性を表す自己資本比率は、2018年9月末の普通株式等Tier1比率が12.02%となり、引き続き十分な水準を確保しています。

▶ 株主還元の充実

配当については、2023年度までに配当性向40%をめざす方針を掲げておりますが、今年度は、中間配当および期末配当予想を期初予想からそれぞれ1円増配し11円とします。年間配当予想はあわせて22円となり、配当性向は30.3%まで上昇する見込みです。今後も、配当性向40%の2023年度までの実現に向けて、配当の安定的・持続的な増加に努めます。

自己株式取得は、上期に500億円実施し、「今後も機動的に行う」としておりましたが、下期についても最大1,000億円を実施し、取得する株式は全量消却します。健全性を確保しつつ、タイトな資本運営を継続していきます。

▶ 持続的な成長に向けて

今年度からスタートした「MUFG再創造イニシアティブ」は、さまざまな逆風を乗り越え、持続的な成長に回帰するための徹底的なMUFGのモデルチェンジへの取り組みです。

デジタルイノベーション戦略では、新型ブロックチェーンを用いた新たな決済基盤の構築に向けた協働をスタートさせたほか、情報信託機能を担うプラットフォーム構築に向けた実証実験を開始しました。また、新概念店舗「MUFG NEXT」の第一号店として、2019年1月に学芸大学駅前支店をリニューアルオープンする予定です（詳細は6～7ページをご覧ください）。

グループの機能別再編については、銀行・信託銀行の法人貸出等業務統合を完了しました。今後、グループ一体での営業推進による、お客さまへのソリューション提供力の一段の向上に努めます。

加えて、8月にはインドネシアのバンクダナモンの株式追加取得を実施し、出資比率を40%まで引き上げたほか、10月には豪州大手資産運用会社Colonial First State Global Asset Managementの戦略的買収に合意するなど、市場成長の取り込みに向けた着実な対応を進めています。

MUFGは、私たちを取り巻く大きな環境変化を乗り越え、持続的な成長軌道に復帰するために、全世界15万人の社員が危機感を共有し、スピード感を持って構造改革を遂行してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年12月
取締役

代表執行役社長 グループCEO

平野信行

2018年度中間期決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する中間純利益は6,507億円と、期初設定の通期業績目標8,500億円に対する進捗率は76%

➔ 通期業績目標を9,500億円に上方修正

連結業務粗利益



外貨預貸金収益が増加しましたが、債券利息等の減少に加え、債券関係損益が減少し、前年同期比1,255億円減少しました。

与信関係費用総額*

貸倒引当金の戻入を主因に1,179億円の戻入益となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	20,081	18,825
営業費(△)	13,073	13,144
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	7,007	5,681
● 与信関係費用総額(△は費用)	31	1,179
経常利益	8,640	8,859
親会社株主に帰属する中間純利益	6,269	6,507

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	3,069,374	3,063,876
貸出金(銀行勘定)	1,080,909	1,086,427
有価証券	592,661	587,666
うち国債	235,513	216,850
負債の部合計	2,896,423	2,888,121
預金	1,773,123	1,759,797
純資産の部合計	172,950	175,754

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	12.58%	12.02%
Tier1比率	14.32%	13.67%
総自己資本比率	16.56%	15.82%

(単位: 億円)

2017年度中間期 (2017年4月~9月)	2018年度中間期 (2018年4月~9月)
20,081	18,825
13,073	13,144
7,007	5,681
31	1,179
8,640	8,859
6,269	6,507

(単位: 億円)

2017年度末	2018年度中間期末
3,069,374	3,063,876
1,080,909	1,086,427
592,661	587,666
235,513	216,850
2,896,423	2,888,121
1,773,123	1,759,797
172,950	175,754

営業費

国内が減少した一方、海外での業容拡大や規制対応費用の増加により、前年同期比71億円増加しました。

親会社株主に帰属する中間純利益



前年同期比238億円増加し、6,507億円となりました。

貸出金・預金



貸出金は、海外貸出増加を主因に、前年度末比0.5兆円増加しました。預金は、個人預金は増加しましたが、法人等預金が減少し、前年度末比1.3兆円減少となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、12.02%と引き続き十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率 = 中核的な自己資本(資本金・剰余金) ÷ リスク・アセット

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

資本政策

株主還元の基本方針

資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努めます。

配当

利益成長を通じた1株当たり配当金の**安定的・持続的な増加**を基本方針とし、**配当性向は40%をめざします**

→ 2023年度までに配当性向40%への引き上げをめざします

自己株式取得

自己株式取得は、資本効率の向上に資する株主還元策として、**機動的に実施します**

→ ①業績・資本の状況 ②成長投資の機会
③株価を含めた市場環境、を考慮します

→ 格付A以上の確保に必要な資本水準を、安定的に維持できる見通しを確認します

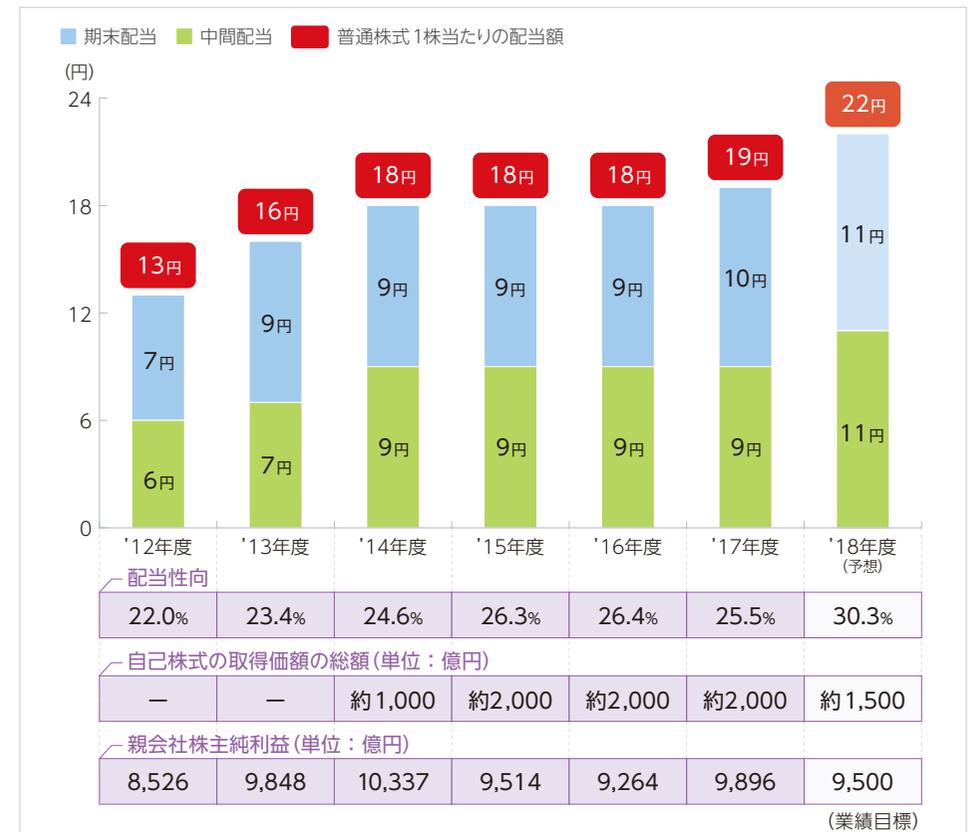
自己株式消却

保有する自己株式の総数の上限を、**発行済株式総数の5%程度を目安**とし、それを超える数の株式は、原則として消却します

配当・自己株式取得

今年度は、中間配当および期末配当予想を期初予想からそれぞれ1円増配し11円とします。2018年度の年間配当予想はあわせて22円となり、配当性向は30.3%に上昇する見込みです。

自己株式取得は、上期に500億円実施しましたが、下期についても最大1,000億円を実施し、取得する株式は全量消却します。



1 CEATEC Japan 2018 出展

IoT*など新しい技術を紹介する、アジア最大級の国際展示会であるCEATEC Japan 2018が2018年10月に千葉・幕張で開催されました。MUFGはブースを出展し、情報信託プラットフォーム「DPRIME (仮称)」をはじめ、さまざまなサービスを展示しました。

*Internet of Thingsの略

三菱UFJ信託銀行 / 情報信託プラットフォーム「DPRIME (仮称)」

三菱UFJ信託銀行は、個人自らがデータ利用希望者へ個人データを提供することで、対価を受け取ることができるよう、情報信託機能を担うプラットフォーム「DPRIME (仮称)」の提供に向けて実証実験を開始しました。2019年度中のサービス開始をめざしています。



2 新コンセプト店舗「MUFG NEXT」オープン

2019年1月、学芸大学駅前支店は、新コンセプト店舗「MUFG NEXT」としてリニューアルします。「MUFG NEXT」では、インターネットや各種機器・タブレット等を利用した簡単でスピーディーなお取引が可能となります。また、コンシェルジュがお客さまのご要望をお伺いし、お手続きをサポートします。お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



タブレットを利用した簡単な受付・伝票不要によりスピーディーな取引を実現



テレビ電話を通じてオペレーターが対応。ご利用方法等はコンシェルジュが丁寧にサポート

3 豪州大手アセットマネジメント会社の戦略的買収

三菱UFJ信託銀行は、Colonial First State Group Limitedが保有する主要完全子会社9社(以下「CFSGAM」)株式それぞれの100%持分を取得することを目的に、株式売買契約を締結しました。



CFSGAMは、日本を除くアジアで運用資産残高第3位の大手資産運用会社です。本株式取得により、MUFGは商品ラインナップの拡充を図るとともに、アジア・オセアニア地域最大の資産運用会社としてグローバル市場での存在感を一層高め、CFSGAMと共にグローバルにおけるお客さまの多様なニーズにお応えし、付加価値を提供してまいります。

ESGセミナーの開催

MUFGは2018年9月、昨今関心が高まっている「E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)」をテーマとしたセミナーを開催しました。

第一部 環境・社会

MUFGは、お客さま、社会の持続的成長と発展に寄与することで、自らの成長を遂げることが社会的存在としての企業の使命であると考えています。その実現に向けた取り組みについて、第一部では、「環境・社会」をテーマにプレゼンテーションと質疑応答を行いました。

■ 環境・社会課題への取り組み

- 優先的に取り組む環境・社会課題
- 環境・社会に対する基本方針と気候変動への取り組み

■ ファイナンスを通じた環境への取り組み

- 再生可能エネルギー向け融資の取り組み状況
- 石炭火力発電向け融資の取り組み方針
- グリーンボンドの発行と引受



第二部 ガバナンス

第二部では、「ガバナンス」をテーマに、MUFGが初めて迎えた外国人取締役であるTarisa Watanagase (タリサ・ワタナゲス)と、Toby S. Myerson (トビー・S・マイヤソン)が登場しました。



■ 主な質問内容

- 東南アジアにおけるMUFGの戦略についてどのように評価しているか
- MUFG再創造イニシアティブをどのように評価しているか
- MUFGユニオンバンクがMUFGの傘下にあることで、米国の銀行としてどのような点が競合優位に働いているか
- MUFGのコーポレートカルチャーをどのように評価しているか
- お二人はMUFGとして初めての外国人取締役だが、取締役会でどのように受け入れられているか

information

当日(2018年9月19日)のプレゼンテーション資料および主なQ&AはMUFGのホームページに掲載していますので、下記URLより併せてぜひご覧ください。

URL <https://www.mufg.jp/ir/presentation/>



MUFGからのお知らせ

MUFGでは、下記のとおり株主さま向けのセミナーを開催いたします。

① 開催概要

募集対象者 …… 2018年9月末時点で当社株式を1,000株以上お持ちの株主さま
(ご同伴は1名さままで可)
参加費 …… 無料

① 経済セミナー(東京・名古屋・大阪)

開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	2019年3月6日(水)	各回380名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区	2019年3月19日(火)	各回150名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	2019年3月20日(水)	各回200名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社または外部の会議室		
内容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事 五十嵐 敬喜氏		 五十嵐 敬喜氏

② 相続セミナー(東京)

開催日 募集人数	2019年3月25日(月) 200名	
時間	19:00 ~ 20:15頃	
開催場所	東京都千代田区内の会議室	
内容	テーマ:「相続のいろは ~民法改正をふまえて~」(仮題) 三菱UFJ信託銀行のトラストファイナンシャルプランナーが事例を交えて解説します。	

② 動画配信

セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。パソコン・スマートフォン等からご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

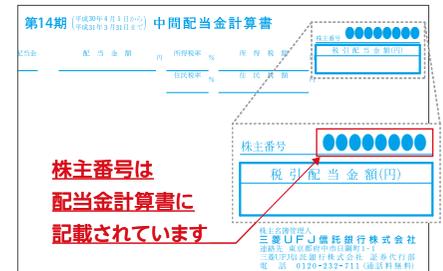
- ▶ **リンク先情報**
当社ホームページ内『動画配信』(<https://www.mufg.jp/ir/investors/movie/>)
- ▶ **ユーザー名** ▶ **パスワード** ▶ **配信期間**
mufg 201903 経済セミナー:東京会場終了後、1ヵ月間
相続セミナー:セミナー終了後、1ヵ月間

③ 応募要領

応募方法:同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。
締め切り 2018年12月21日(金)消印有効

ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を**いずれか1つ**選択してください(**複数選択、無選択は無効**)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(同封の「配当金計算書」または「配当金領収証」の右上8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。



抽選の上、当選された株主さまには2019年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。
- 応募時に必要事項の**記入漏れ**があった場合には、**無効**となりますのでご注意ください。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先:株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク **0120-321-629**
(通話料無料)

代表電話 **03-3240-8111**
(通話料有料)

受付時間:土・日・祝祭日を除く9:00~12:00、13:00~17:00

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
—Be the world's most trusted financial group—

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の方で

お客様視点を中心に、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の方で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL : <https://www.mufj.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

2018年12月発行

本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

